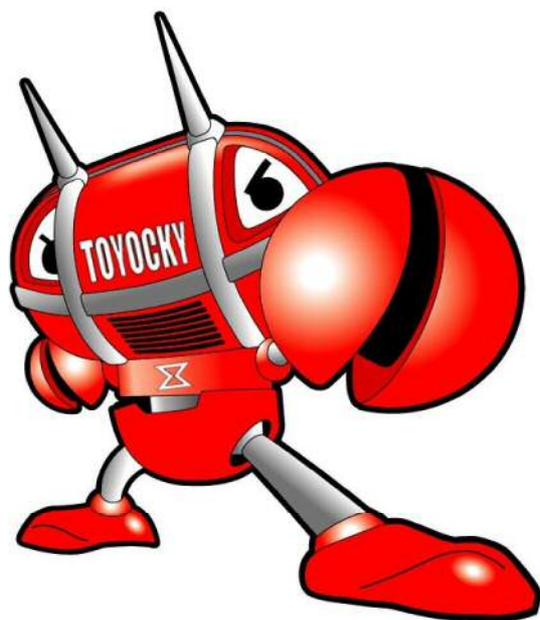


平成27年度 豊橋市予算の 見どころ



- 豊橋市 -

平成27年度豊橋市予算

「こどもの未来とまちの元気をつくる、 とよはし創生予算」

<目 次>

	頁
○ <u>人や地域に活力を生む「産業の活性化とにぎわいの創出」</u>	
・ 施設園芸高度化推進事業	1
・ 畜産物生産販売力強化事業	2
・ 豊橋産農産物海外販路開拓推進事業ほか	3
・ メイカーズ・ラボ交流促進事業補助金	4
・ 名豊道路道の駅整備事業	5
・ 市街地再開発事業補助金ほか	6
・ 総合動植物公園リニューアル事業等	7
○ <u>市民が健やかに暮らすための「保健・医療・福祉の推進」</u>	
・ 法人保育所・認定こども園運営支援事業ほか	8
・ 公立保育所整備事業	9
・ 生活困窮者自立支援事業	10
・ 健康なまちづくり推進事業	11
・ 予防接種事業	12
・ 地域リハビリテーション活動支援事業	13
・ 放射線治療施設等整備事業	14
○ <u>心豊かな人材を育成する「教育・文化の充実」</u>	
・ 豊橋文化振興財団補助金	15
・ 文化芸術体験推進事業	16
・ 小中一貫教育推進事業	17
・ くすのき特別支援学校教育推進事業	18
・ 自然史博物館の充実	19
・ 大清水まなび交流館(複合施設)の開館	20
・ 商家「駒屋」事業	21
・ 陸上競技場の整備	22

○ 地域防災力を高めるための「防災・減災対策の強化」

- ・ 地域防災力強化推進事業 23
- ・ 避難誘導対策事業 24
- ・ 緊急情報等の伝達強化 25
- ・ 飲料水用施設整備事業 26
- ・ 災害廃棄物処理計画策定事業 27
- ・ 道路防災事業 28
- ・ 震災時活動拠点の強化事業 29
- ・ 消防団活動用資機材充実強化事業 30

○ 環境にやさしい暮らしを実現する「環境対策の推進」

- ・ 新エネルギー導入促進事業 31
- ・ 再生可能エネルギー活用推進事業 32
- ・ 自然環境保全推進事業 33
- ・ 指定ごみ袋制度の導入 34
- ・ 自転車通行空間整備事業 35
- ・ バイオマス資源利活用施設建設事業 36

○ その他

- ・ 女性職員の活躍推進 37
- ・ 総合計画策定事業 38
- ・ ええじゃないか豊橋推進計画改定事業 39
- ・ 東三河広域連合負担金 40
- ・ 空家対策推進事業 41

施設園芸高度化推進事業	事業費 77,170 千円
-------------	------------------

◎次世代型大規模施設園芸拠点の整備を推進します

○次世代型施設園芸温室イメージ



【概要説明】

大規模温室での高品質・高収量栽培実証や地域資源の有効活用実証に取り組み、その成果を地域に普及させることを目的として、農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」を活用した大規模施設園芸拠点の整備を目指します。

【事業内容】

- ・高軒高多連棟ハウスを大規模整備(3.6ha)してミニトマトを周年・計画栽培
- ・空調及び根域の複合環境制御技術により単収21t/10aの高収量を実現
- ・豊川浄化センターの放流水等が持つ熱エネルギーを活用して化石燃料の使用量を削減
- ・温室のほか育苗施設や集出荷施設も整備し生産から販売までを拠点内で一気通貫
- ・コンソーシアムを組織し拠点の円滑な運営と成果を地域へ波及させる環境を整備

【コンソーシアム構成員】

- ・豊橋市、愛知県、生産者、農業団体、大学等研究機関、関係企業

担当課	農業支援課	電話 (0532)51-2476
メールアドレス	nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp	

畜産物生産販売力強化事業	事業費	4,300	千円
--------------	-----	-------	----

◎貿易の自由化を見据えた施策を立案します



生産力の強化



販売力の強化



需要の創出

【概要説明】

本市畜産の維持・発展のため、豊橋産畜産物の生産・流通等の現状把握と
 TPP交渉の動向を踏まえた畜産業への影響分析を行い、目指すべき施策の
 方向性を明らかにするとともに、新たな施策を展開します。

【事業内容】

1. 畜産物生産販売力の調査

(1) 時期: 平成27年5月～10月(予定)

(2) 調査内容:

- ① 生産、流通の現状及び農家の経営状況等の把握と分析
- ② 国内流通の見通しと本市畜産業への影響の分析
- ③ 本市畜産の維持、発展に向けた施策の展開方向の提案

2. 豊橋市畜産物生産販売力等強化戦略会議(仮称)の発足

- (1) 目的: 調査を踏まえた施策等の検討、関係者との連携強化
- (2) 構成: 市、県、農業団体、関係企業等

担 当 課

農業支援課

電話 (0532)51-2459

メールアドレス

nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp

豊橋産農産物海外販路開拓推進事業 先端技術輸出調査事業	事業費 40,223 千円
--------------------------------	------------------

◎東南アジアを中心に本市農業等の市場を開拓します



海外でのプロモーション等の様子

【概要説明】

本市農業の魅力発信を海外で展開し、農産物や加工品の市場を開拓します。

農産物では、香港、シンガポール、タイの見本市や販売店でのPR、バイヤーとの商談と国内への招聘などを通じて、産地の魅力を伝えます。

また、要望の多いミニトマトの周年出荷では、周辺市町と連携し、栽培モデルの検討を進め、技術的な課題を解決することで産地の魅力向上を図ります。

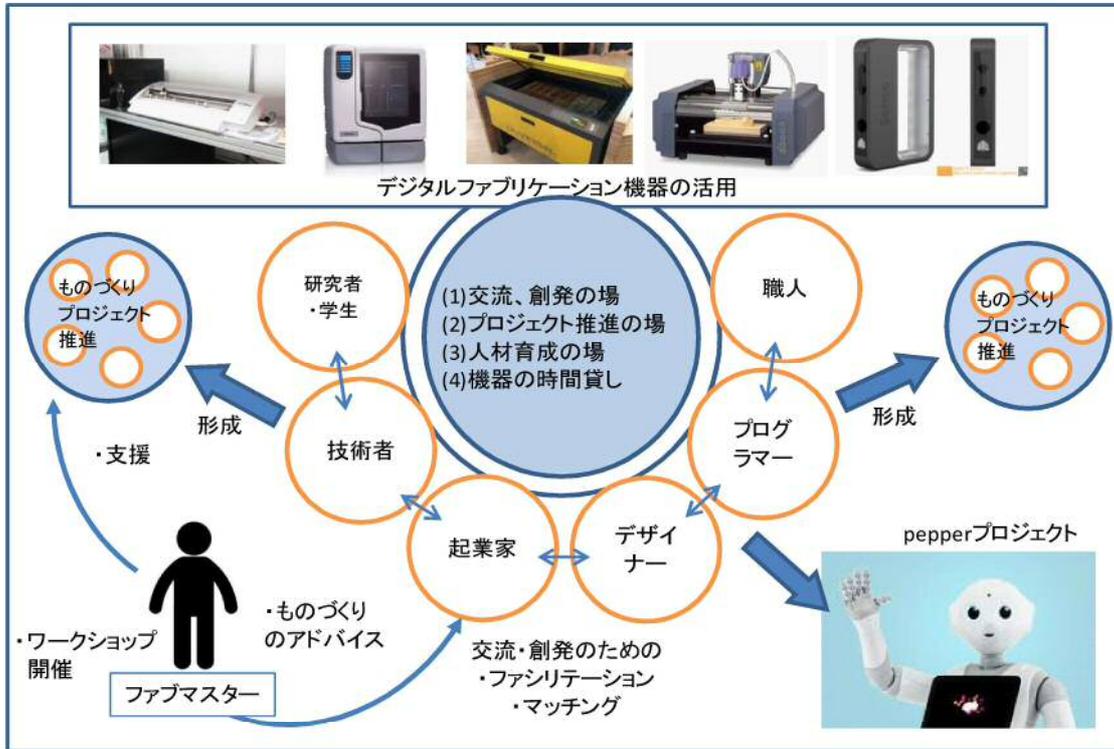
加工品については、香港やシンガポールで農産物と連携したPRを進めます。

また、最先端技術を駆使した植物工場の輸出を目指すことで、技術に裏付けされた「とよはし農業」の魅力を発信します。

担 当 課	農業企画 課 産業政策 課	電話 (0532)51-2471 (0532)51-2640
メールアドレス	nogyokikaku@city.toyohashi.lg.jp、sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

メイカーズ・ラボ交流促進事業補助金	事業費	15,000	千円
-------------------	-----	--------	----

◎ものづくりに挑戦する事業者の活動を支援します



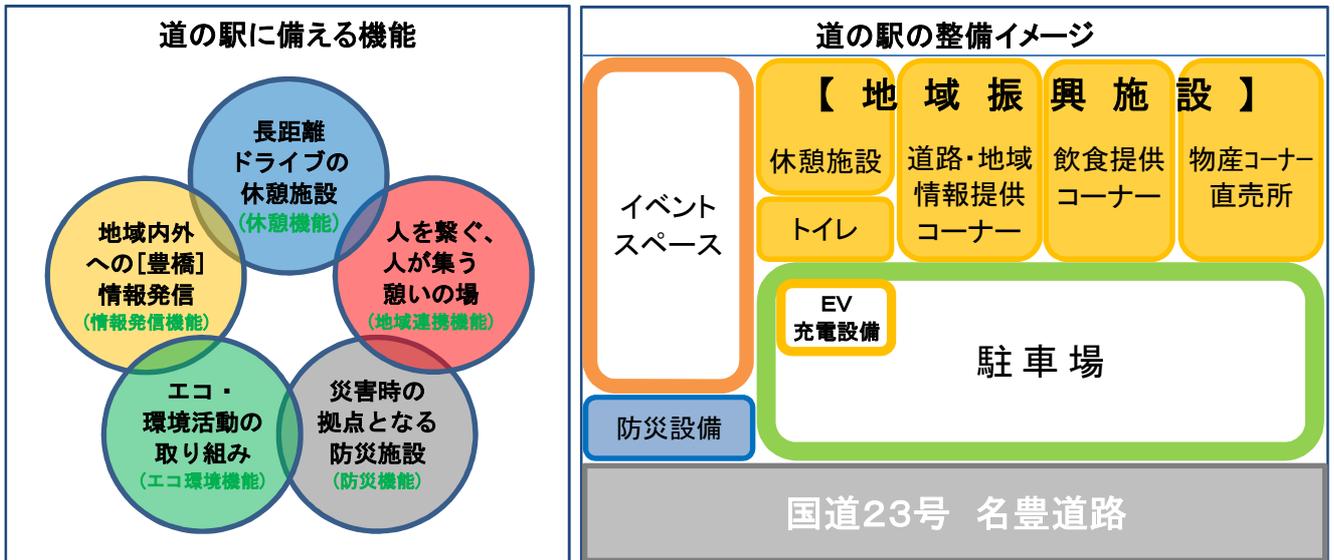
【概要説明】

「ものづくりに革命を起こす」といわれる3Dプリンタなどデジタル工作機械を揃えたラボを設置し、異業種との出会いや情報交換、技術交流の場として、技術者やプログラマー、デザイナー、学生等が切磋琢磨しながら、新たなものづくりに挑戦できる場を整備します。機器の使い方やものづくりの方法についてのワークショップ、感情認識パーソナルロボットpepper(ソフトバンクロボティクス株式会社)を活用したアプリ開発等を実施し、将来的には、これまでなかったようなユニークな製品を生み出す起業家(メイカー)や、企業の研究開発を担う技術者等の育成により、地域産業の活性化を目指します。

担当課	産業政策課	電話 (0532)51-2640
メールアドレス	sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

名豊道路道の駅整備事業	事業費	25,000	千円
-------------	-----	--------	----

◎名豊道路七根IC周辺に「道の駅」を整備します



【概要説明】

名豊道路七根IC周辺において、直売所や飲食施設を通じて、地元農産物などを提供するとともに、広域観光情報を発信し、さらには災害時の防災拠点機能を併せ持つ「道の駅」の整備を進めます。

本事業は平成27年1月に国土交通省から“重点「道の駅」候補”に選定されており、地域活性化の拠点とするため関係機関と連携して取り組みます。

平成27年度は、基本計画策定のほか用地測量や土木工事の詳細設計を行い、平成29年度末の開駅を目指します。



担当課	道路建設課	電話 (0532)51-2520
メールアドレス	dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp	

市街地再開発事業補助金(駅前大通二丁目地区) まちなか広場(仮称)基本計画・基本設計等策定業務 まちなか図書館(仮称)実施計画策定業務	事業費 <p style="text-align: right;">223,822 千円</p>
---	---

◎駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業を進めます



【概要説明】

まちなか図書館(仮称)、まちなか広場(仮称)をはじめ、商業・サービス業、住宅等からなる新たな魅力拠点を整備する駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業に対し、支援を行います。

まちなか図書館(仮称)においては、専門家や市民の意見を参考に、サービス、空間構成等を明らかにした実施計画を、まちなか広場(仮称)においては、ワークショップ等を行って基本計画等を策定します。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業
地区概要 約1.5ha
(開発ビル、名豊ビル、狭間児童広場等) 施設用途 商業・サービス業、業務、住宅
まちなか図書館(仮称)
まちなか広場(仮称) | <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか図書館(仮称)整備事業
施設規模3,000~4,000m² ・まちなか広場(仮称)整備事業
規模2,000~3,000m² |
|---|---|

担当課	まちなか活性課	電話 (0532)55-8102
メールアドレス	machinaka@city.toyohashi.lg.jp	

総合動植物公園リニューアル事業等	事業費	627,740	千円
------------------	-----	---------	----

◎のんほいパークの魅力向上に向けた整備を推進します



【概要説明】

演出効果の高い動物展示施設の整備や既存遊具の拡充など、
100万人プロジェクト達成に向けて更なる魅力アップを図ります。

<主な内容>

- ・ニホンザル舎の整備
- ・マンドリル舎の整備
- ・ゴツメカワウソ舎の整備（新規展示動物）
- ・ゴーカート拡張整備
安全かつスリリングな新コースの整備
- ・のんほい鉄道整備計画の推進
整備に向けた基本計画の策定

担当課	動植物公園	電話 (0532)41-2186
メールアドレス	doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp	

法人保育所・認定こども園運営支援事業 児童育成事業 放課後児童対策事業 ほか	事業費 22,159,965 千円
--	--------------------------

◎子ども・子育て支援新制度/子ども・子育て応援プランを推進します



子ども・子育て支援新制度は、子育てをめぐるさまざまな問題を改善するために、子どもへの支援を総合的に行う新しい仕組みです。未就学児の教育・保育など、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指していきます。



【概要説明】

○新制度を含む様々な子育て支援を展開する「子ども・子育て応援プラン」が始まります。

- ・法人保育所の大規模改修の実施(2園)
- ・少子化対策として、結婚支援事業を実施
- ・ひとり親家庭等への学習支援の実施
- ・児童虐待防止の啓発等のためオレンジリボンデーを開催 など

○地域の実情に応じた子ども・子育て支援を充実させます。

- ・つどいの広場 平成26年度 3か所 → 平成27年度 4か所
- ・一時保育指定園 平成26年度 3か所 → 平成27年度 4か所
- ・放課後児童クラブ 平成26年度 67クラブ → 平成27年度 74クラブ
- ・放課後児童クラブ(公営)の延長利用を午後7時まで拡大
- ・その他、延長保育事業、子育て短期支援事業、地域子育て支援センター事業、病児・病後児保育事業等を継続実施

○幼稚園・保育園の良さをあわせ持つ「認定こども園」の普及を進めます。

- ・平成26年度 2園 → 平成27年度 7園
- ・認定こども園へ移行する幼稚園の施設整備に対して助成(1園)

○幼児期の教育・保育を保障するため、入所定員を確保します。

○子育て支援体制の充実のため、新たに「こども未来部」を設置します。

担当課(電話) 子育て支援課((0532)51-3163)、保育課(51-2317)、生涯学習課(51-2857)

メールアドレス kosodateshien@city.toyohashi.lg.jp、hoiku@city.toyohashi.lg.jp、shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp

公立保育所整備事業	事業費	126,720	千円
-----------	-----	---------	----

◎こじか保育園を整備します

現在のこじか保育園



全景



トイレ

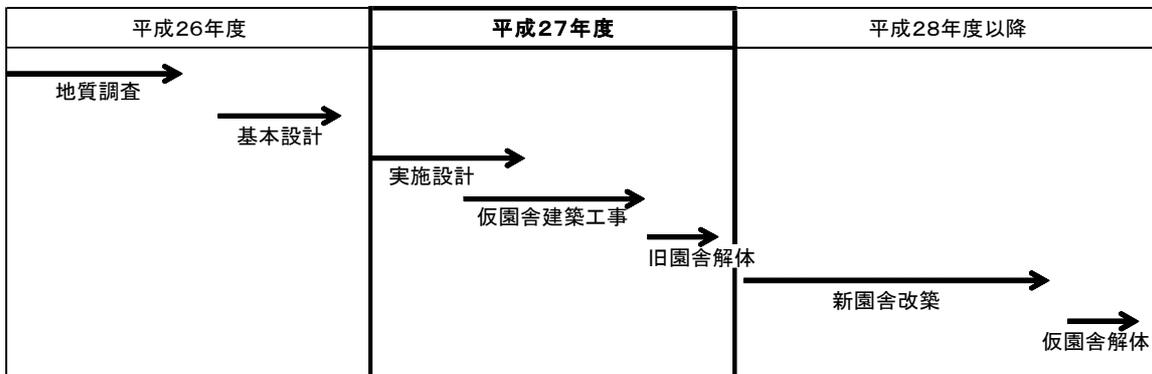


渡り廊下

【概要説明】

昭和48年に建設された現在の園舎は、すでに40年が経過しており、老朽化が著しいため、施設の改築を実施することで良好な保育環境を整備し、将来を担う子どもたちの健全な育成を促進します。

こじか保育園整備事業スケジュール



担当課

保育課

電話 (0532)51-2317

メールアドレス

hoiku@city.toyohashi.lg.jp

生活困窮者自立支援事業	事業費	31,974	千円
-------------	-----	--------	----

◎生活困窮の方の自立を支援します



【概要説明】

収入が少なく生活に困っている方々に対して、その方が抱えている問題を早期に解決できるように支援していきます。例えば、離職をして再就職のために住居の確保が必要な方へ一定期間家賃相当額を給付したり、住むところが無いなどの緊急的な支援が必要な方へは一時的に宿泊場所の提供をします。また、貧困の連鎖の防止策として子どもたちには居場所を提供し、学習の援助や社会性を育む支援を行います。

◇自立相談支援事業 <自立に向けた計画を作成し支援策を決定>



◇住居確保給付金の支給

◇一時生活支援事業

◇学習支援事業

担当課

障害福祉課

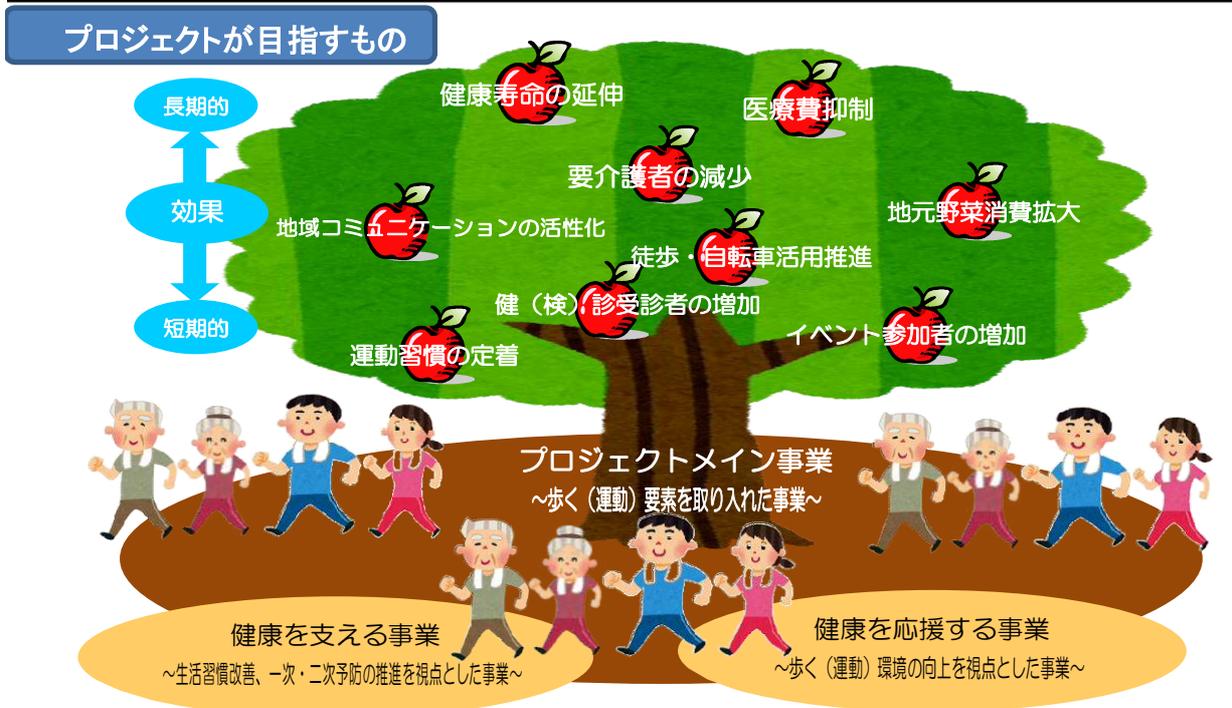
電話 (0532)51-3051

メールアドレス

shogaifukushi@city.toyohashi.lg.jp

健康なまちづくり推進事業	事業費	12,183	千円
--------------	-----	--------	----

◎ええじゃないか！ 歩(ほ)の国とよはしプロジェクトが始動します



【概要説明】

「歩く(運動)」をキーワードに、「プロジェクトメイン事業」「健康を支える事業」「健康を応援する事業」を三本の柱として、市民の誰もが健康になることのできる「健康なまちづくり」を進めていきます。

【プロジェクトメイン事業】

◎ とよはし健康マイレージ事業

自身で立てた健康目標の達成や行政が推進する事業等へ参加することによりポイントが獲得でき、一定以上のポイント獲得者には県内協力店で様々な特典が受けられる「優待カード」の交付や抽選で健康グッズが当たります。

【健康を応援する事業】

◎ 健康シンポジウムの開催

健康なまちづくりをテーマとしたシンポジウム等を開催します。先進自治体の取組み事例の発表や基調講演などにより、これからの豊橋市が目指す「健康なまちづくり」施策の参考とします。また、健康の道を利用したウォーキング大会も行います。

◎ スマートウエルネスシティ首長研究会への参画

「健幸(健やかで幸せ)」をまちづくりの基本に据えた政策を積極的に展開するため、先進的に実践する自治体の首長と連携していきます。

担 当 課	健康政策課・健康増進課	電話	健康政策課(0532)39-9111	健康増進課(0532)39-9131
メールアドレス	kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp、kenkouzoushin@city.toyohashi.lg.jp			

予防接種事業	事業費	1,165,375	千円
--------	-----	-----------	----

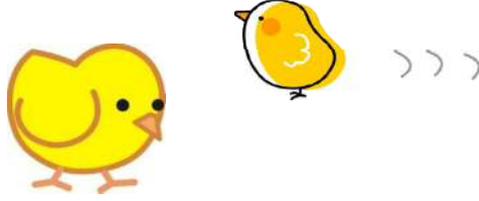
◎国に先行して、予防接種を充実します

赤ちゃんをキャリアにしない
ために、早めに接種しましょう



乳幼児

- ◎B型肝炎 一部助成
- おたふくかぜ 一部助成
- ロタウイルス 一部助成



成人

- 風しん
- 抗体検査 全額助成
- ↓
- 予防接種 一部助成

【概要説明】

平成27年4月から新たに、B型肝炎の予防接種について費用助成を始め、
感染予防に努めます。

＜費用助成一覧＞

対象	項目	助成回数	助成額	
乳幼児	◎B型肝炎	3回	1回につき 2,000円	
	○おたふくかぜ	1回	2,000円	
	○ロタウイルス	2回または3回	1回につき 4,500円または3,000円 (ワクチンの種類により異なる)	
成人	風しん	抗体検査	1回	全額
	風しん	予防接種	抗体検査の結果が陰性の方 1回	5,500円または3,500円 (ワクチンの種類により異なる)

担 当 課 健康政策 課 電話 (0532)39-9109
メールアドレス kenkouseisaku@city.toyohashi.lg.jp

地域リハビリテーション活動支援事業	事業費	652	千円
-------------------	-----	-----	----

◎高齢者の介護予防活動に取り組みます

リハビリテーション専門職
による出前講座



通所介護事業所への支援



【概要説明】

リハビリテーション専門職が、通所介護事業所(デイサービス)、老人クラブや
住民運営の通いの場などの地域活動に対し、運動機能向上の方法を助言する
など自立を促す取り組みを支援します。

【平成27年度予定】

① 通所介護事業所支援

新規支援： 4事業所 各4回／年
継続支援： 4事業所 各1回／年

リハビリテーション専門職が通所介護事業所のスタッフにリハビリテーション理念をふ
まえた評価・アプローチ方法の助言・指導を行います。

② 地域における出前講座の実施 20回／年

地域包括支援センターと圏域内で活動するリハビリテーション専門職が連携し、体操
など介護予防啓発(運動機能向上)に関する講座を実施します。

担 当 課	長寿介護 課	電話 (0532)51-2339
メールアドレス	choju@city.toyohashi.lg.jp	

放射線治療施設等整備事業	事業費 2,735,500 千円
--------------	---------------------

◎「放射線治療施設等」の整備を進めています



外観(イメージ)



治療装置(イメージ)

【概要説明】

地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療体制の充実・強化を図るため、放射線治療施設を整備します。また、それに伴う電気使用量増加への対応に加えて、災害時の機能強化のため、電気設備の更新を行います。

なお、「放射線治療施設等」の整備工事は平成26年度から28年度の3か年継続事業として実施し、新たな治療装置の稼働は平成28年後半を予定しています。

放射線治療装置は、汎用装置の更新に加えて、高精度の治療装置を新たに導入し2台体制とします。これにより、腫瘍の部位や病状に応じた使い分けを行い、より患者にやさしい、高度な医療を提供します。

《事業内容》

総事業費 6,597,000千円

- ・放射線治療施設等の建設
- ・特別高圧受変電設備の設置
- ・非常用発電設備の更新、増設
- ・高圧変電設備の更新
- ・太陽光発電システムの設置

担 当 課 市民病院管理 課

電話 (0532)33-6111

メールアドレス hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp

豊橋文化振興財団補助金	事業費	141,900	千円
-------------	-----	---------	----

◎穂の国とよはし芸術劇場を中心に芸術文化を発信します



平田満 市村正親 益岡徹
『アート』出演者



劇団四季ファミリーミュージカル



名古屋フィルハーモニー交響楽団

【概要説明】

市民のみなさんに様々な公演等をお届けします。

【注目の公演】

- 「アート」 出演:市村正親、平田満、益岡徹
- 「マクベス」 出演:佐々木蔵之介

【小中学校と特別支援学校を対象とした鑑賞事業(教育委員会との連携事業)】

- 劇団四季ファミリーミュージカル 対象:小学6年生
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート 対象:小中学生 ほか3事業

【小中学校と特別支援学校を対象とした芸術文化体験普及事業】

- 演劇・舞踊・音楽のワークショップを開催しコミュニケーション能力等の向上を図ります。

【親子ふれあい事業】

- 舞台芸術や音楽公演を親子で鑑賞し、家庭でも芸術に親しむ機会を創出します。

担 当 課	文化 課	電話 (0532)51-2873
メールアドレス	bunka@city.toyohashi.lg.jp	

文化芸術体験推進事業	事業費	8,073	千円
------------	-----	-------	----

◎小中学生に優れた芸術などに親しむ機会を提供します



【概要説明】

本物の鑑賞体験や芸術家との交流を通して、文化芸術への興味・関心を高め、将来にわたって文化芸術に親しむ子どもを育てます。

学習の中に鑑賞や体験、芸術家との交流の場を計画的に位置づけることで、子どもたちの創造力やコミュニケーション能力を高め、豊かな心を醸成します。

- 小中学校等鑑賞事業
「穂の国とよはし芸術劇場」「アイプラザ豊橋」を会場に、優れた舞台・音楽芸術を鑑賞します。
- 芸術文化体験普及事業(ワークショップ)
各学校に芸術家(作家、演出家、音楽家など)を派遣し、講話、実技披露、実技指導を行います。
- 美術作品鑑賞事業
美術博物館の企画展・常設展の鑑賞やバックヤードツアーを実施します。
- 親子ふれあい事業
舞台芸術や音楽公演を親子で鑑賞し、家庭でも芸術に親しむ機会を創出します。

担当課	学校教育課	電話 (0532)51-2826
メールアドレス	gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp	

小中一貫教育推進事業	事業費	5,115	千円
------------	-----	-------	----

◎小中一貫教育の研究を進めます



小中合同運動会



小学校 理科専門教諭による授業



中学校音楽教師による小学生への授業

【概要説明】

子どもたちの豊かな人間性と確かな学力の育成をめざして、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある教育課程や教科カリキュラムを編成し、学校生活全般における小・中学校の円滑な接続を図ります。

<施設隣接型>

○施設が隣接しているという特性を生かし、前芝小・前芝中学校で「小中一貫校」設立に向けての検討委員会を設置し、「施設隣接型小中一貫校」移行への検討を進めます。

<施設分離型>

○小・中学校が離れている学校での小中一貫教育を研究するため、研究校を定め、「施設分離型小中一貫教育」の研究を進めます。

○高い専門性をもった教員が教科担任として小学校高学年で理科・図工・音楽などの教科を教えたり、小中学校教員が相互に授業の一部を受け持ったりすることで、中学校への円滑な接続を図るとともに、確かな学力の育成につなげていきます。

担 当 課	学校教育 課	電話 (0532)51-2826
メールアドレス	gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp	

くすのき特別支援学校教育推進事業	事業費 314,483 千円
------------------	-------------------

◎豊橋市立くすのき特別支援学校が開校します



【概要説明】

東三河地域の知的障害のある児童生徒に対し、豊川特別支援学校と本校が一体となり、きめ細やかな特別支援教育を実施します。

- 対象 知的障害のある児童生徒(H27予定 42学級 216名)
- 通学区域 豊橋市、田原市(スクールバスを運行します)
- 設置学部 小学部、中学部、高等部(一般・職業コース)
- 校訓 「力を高め」「心を磨き」「夢を育む」



担当課	教育政策課	電話 (0532)51-2819
メールアドレス	kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

自然史博物館の充実	事業費	201,742	千円
-----------	-----	---------	----

◎新生代展示室を改装します



◎名古屋芸術大学と連携・協力した事業を展開します



【概要説明】

◎新生代展示室の改装

演出効果のある魅力的な映像システムを用いた展示や動植物公園と連携した展示へ改装し、のんほいパークの魅力向上に努めます。

◎名古屋芸術大学と連携・協力

名古屋芸術大学の若い感性や専門性を活かした事業を展開します。
名古屋芸術大学の学生に実践教育の場を提供します。

担当課	自然史博物館	電話 (0532)41-4747
メールアドレス	shizenshi@city.toyohashi.lg.jp	

大清水まなび交流館(複合施設)の開館	事業費	70,057	千円
--------------------	-----	--------	----

◎豊橋市大清水まなび交流館(愛称:ミナクル)がオープンします



大清水まなび交流館外観



南稜地区市民館(多目的室)



大清水図書館



大清水窓口センター

建物内部は、木材をふんだんに用い、温もりのある落ち着いた造りとなっています。生涯学習活動、読書など、気軽に集い、学び、交流ができる環境となっています。

※窓口センターは、平成27年1月13日先行オープンしています。

【概要説明】

平成27年4月、南稜地区市民館、大清水図書館、大清水窓口センターが一体となった複合施設『大清水まなび交流館』がオープンします。

複合施設の特徴を活かした生涯学習講座の開催や図書館事業を行います。

施設概要

延床面積 2,306㎡
 構造 鉄筋コンクリート造及び木造 2階建
 機能 地区市民館：多目的室、料理実習室、工作実習室、和室、会議室等
 図書館：一般、児童、テーマ別コーナー等 蔵書規模7万冊
 窓口センター：証明書交付、届出受付
 その他機能：閲覧コーナー、プレイルーム等

	開業時間	休業日
南稜地区市民館	9時00分～ 21時00分	月曜日、年末年始
大清水図書館		月曜日、年末年始 館内整理日(原則第4金曜日) 特別整理期間
大清水窓口センター	8時30分～17時15分	土曜日・日曜日・祝日、年末年始

※愛称「ミナクル」には、多くのみなさんに集まっていたほしいとの思い「みんな来る」が込められています。

担当課	生涯学習課((0532)51-2845)、図書館(31-3131)、市民課(51-2269)
メールアドレス	shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp、tosho@city.toyohashi.lg.jp、shimin@city.toyohashi.lg.jp

商家「駒屋」事業	事業費	4,879	千円
----------	-----	-------	----

◎商家「駒屋」がオープンします



商家「駒屋」外観



商家「駒屋」



商家「駒屋」主屋内部

【概要説明】

平成27年11月(予定)、二川町にある商家「駒屋」を復原しオープンします。

旧東海道の街並みを楽しみながら、二川の歴史・文化を学び、日本文化を体験できます。

「駒屋」は、江戸時代に建築された商家の遺構です。

【施設概要】

全8棟(豊橋市指定有形文化財)

【施設の貸出(有料)】

離れ座敷・北土蔵・茶室・広場などの施設は、ギャラリーや各種イベントにご利用いただけます。

【主な取り組み】

- 主屋・南土蔵／商家「駒屋」の歴史紹介
- 北土蔵／地産地消にこだわった食事や喫茶サービス
- 中土蔵／二川宿オリジナルグッズや手作り製品の販売

担 当 課 美術博物館

電話 (0532)41-8580(本陣資料館)

メールアドレス bijutsu@city.toyohashi.lg.jp

陸上競技場の整備	事業費 57,470 千円
----------	------------------

◎陸上競技場を整備します



整備後のメインスタンドイメージ

整備後の屋内走路イメージ



【概要説明】

現在のスタンドは、築後50年以上経過しています。バリアフリー化した障害者観覧室や屋内走路を備えた屋根付きメインスタンドを整備し、施設の機能及び利便性の向上を図ります。

なお、平成27年度は、実施設計を行います。

- 施設概要
 - ・屋根付メインスタンド 観覧席1,500人
 - ・屋内練習走路
- 供用開始予定
 - ・平成30年度

担当課	スポーツ課	電話 (0532)51-2866
メールアドレス	sports@city.toyohashi.lg.jp	

地域防災力強化推進事業	事業費 1,576 千円
-------------	-----------------

◎地域防災力の向上に向けた取り組みを推進します



防災リーダー養成講座



フォローアップ講座



津波避難訓練での住民避難の様子

【概要説明】

地域による防災活動の更なる活性化を図るため、校区単位で行われる自主的かつ実践的な「校区防災訓練等」に要する経費の一部を新たに補助します。

また、災害に備えた防災・減災活動、そして発災後の共助の“要”として、地域の自主防災活動の中心となる「防災リーダー」を養成するとともに、多くの知識や技術を習得していただくためのフォローアップ講座を開催します。

New!!

【自主防災力強化事業補助金】

校区ぐるみで行う防災訓練等を対象とするため、自治会加入世帯数により上限を定める。

- ・自治会加入世帯数1,200以下 30,000円
- ・自治会加入世帯数1,201以上 2,500以下 50,000円
- ・自治会加入世帯数2,501以上 70,000円

担当課	防災危機管理課	電話	(0532)51-3126
メールアドレス	bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp		

避難誘導対策事業	事業費	9,800	千円
----------	-----	-------	----

◎避難誘導標識等の整備を行います



設置予定箇所(表浜海岸)



津波避難誘導標識(イメージ)



既設避難誘導標識

【概要説明】

災害時、市民や観光客等の円滑な避難誘導を図るとともに、また、平時から避難施設や避難路を確認していただくため、避難誘導標識等の整備を計画的に行います。

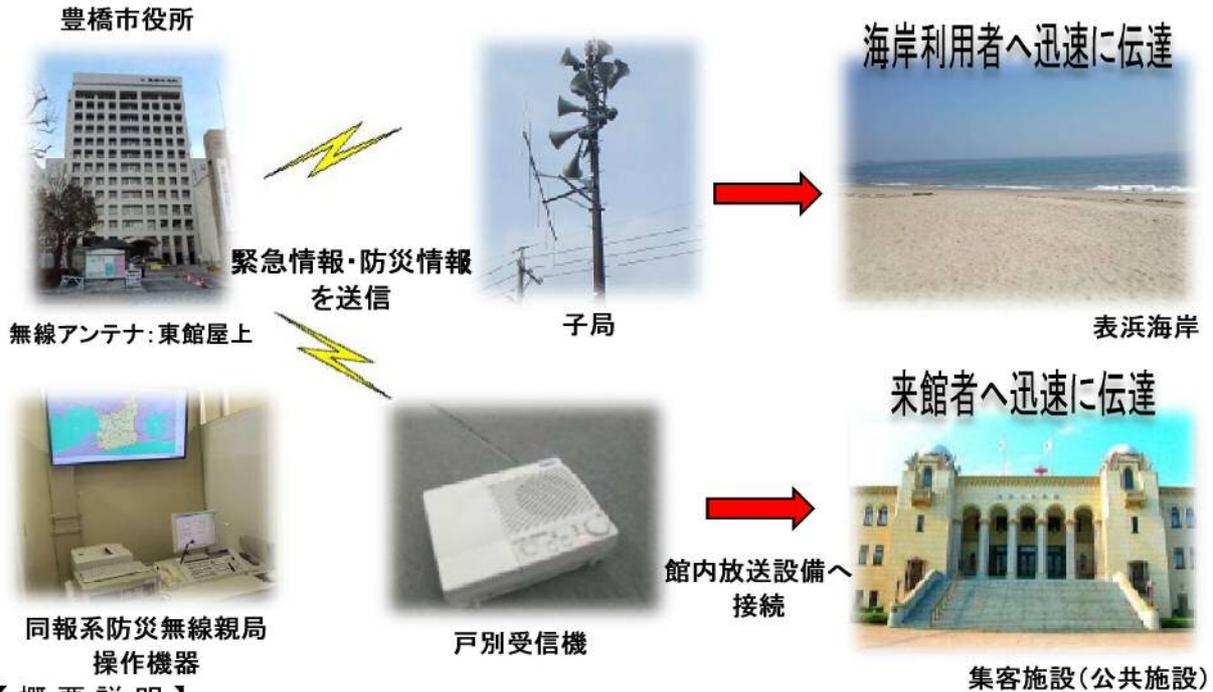
【平成27年度実施事業】

- ◆ 津波避難誘導標識の設置
 <表浜海岸に津波から避難するための誘導標識を設置(17基)>
- ◆ 避難誘導標識点検調査の実施
 <既設避難誘導標識の総点検を実施し、点検結果に基づき次年度以降計画的に更新します>

担 当 課	防災危機管理課	電話 (0532)51-3116
メールアドレス	bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp	

緊急情報等の伝達強化	事業費	69,900	千円
------------	-----	--------	----

◎緊急情報等の伝達を強化します



【概要説明】

地震等の災害による被害の軽減を図るため、緊急情報等を迅速に市民の方へ伝達出来るよう、情報伝達を強化します。

表浜海岸には津波による被害の軽減を図るため、同報系防災無線の子局を2局増設します。また、集客のある公共施設には同報系防災無線の戸別受信機を設置し、館内放送設備へ接続することにより、緊急情報等を迅速に伝達します。

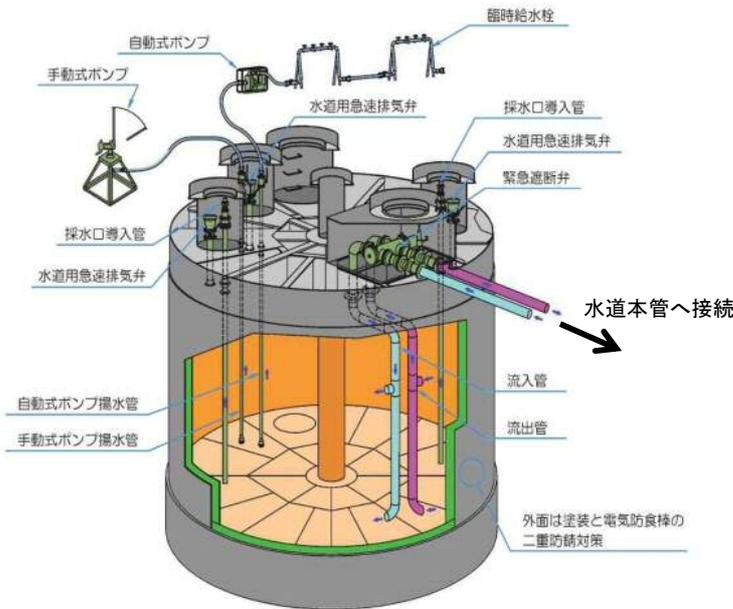
《戸別受信機整備予定箇所》

- | | | |
|-----------|--------------|-------------------|
| ・ アイプラザ豊橋 | ・ ライフポートとよはし | ・ 穂の国とよはし芸術劇場プラット |
| ・ 公会堂 | ・ 中央図書館 | ・ 総合福祉センター「あいつピア」 |
| ・ 豊橋競輪場 | ・ 市民文化会館 | ・ 総合体育館 |
| ・ 青少年センター | ・ りすば豊橋 | ・ アクアリーナ |
| ・ こども未来館 | ・ 自然史博物館 | |
| | | 合計 14施設 |

担 当 課	防災危機管理 課	電話 (0532)51-3116
メールアドレス	bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp	

飲料水用施設整備事業	事業費	137,300	千円
------------	-----	---------	----

◎飲料水兼用耐震性貯水槽の整備を進めます



飲料水兼用耐震性貯水槽(イメージ)



工事中の様子



給水訓練の様子

【概要説明】

大規模地震発生時、水道管等の破損により水道水の供給がストップした場合に、安全な水(飲料用・応急救護用)を確保するとともに、火災発生時の消火用水を確保するため、飲料水兼用耐震性貯水槽の整備を進めます。

【平成27年度設置箇所】 新川小学校(100㎡)、章南中学校(60㎡)

○ 飲料水兼用耐震性貯水槽とは

貯水槽は通常時、水道本管に直結しており、水道管の一部として水が循環しています。大規模地震発生時には、自動的に水道本管と遮断して、貯水槽内に新鮮な水道水を確保します。

また、火災発生時には、消火用水としても使用できます。

担当課	防災危機管理課	電話	(0532)51-3116
メールアドレス	bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp		

災害廃棄物処理計画策定事業	事業費 8,265 千円
---------------	-----------------

◎災害廃棄物の処理を迅速に行います



東日本大震災により発生した災害廃棄物



災害廃棄物仮置場



災害廃棄物中間処理施設

【概要説明】

東日本大震災で得た知見から、被災地域の速やかな復旧復興のためには、災害廃棄物の迅速な処理が必要であることが再認識されました。

今後発生が予測される南海トラフ巨大地震等により発生する災害廃棄物の適正処理、復旧対策について災害廃棄物処理計画を策定し、災害時における迅速な災害廃棄物の処理に対応します。

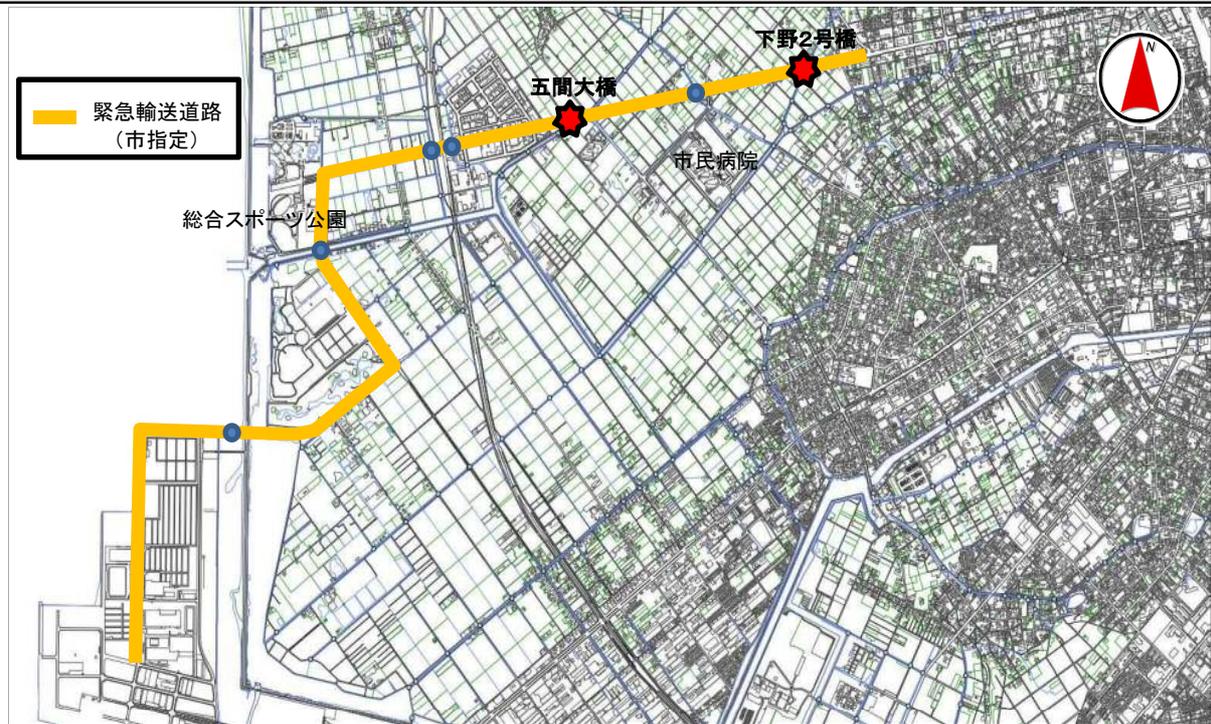
【策定項目】

- 被害予測、災害廃棄物の発生量の想定
- 災害廃棄物の処理能力の調査
- 収集運搬、処理フローの整備
- 市民への啓発、職員教育
- 広域連携、民間団体との協定、愛知県災害廃棄物処理計画との整合性の確保

担当課	環境政策課	電話 (0532)51-2454
メールアドレス	kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

道路防災事業	事業費	56,000	千円
--------	-----	--------	----

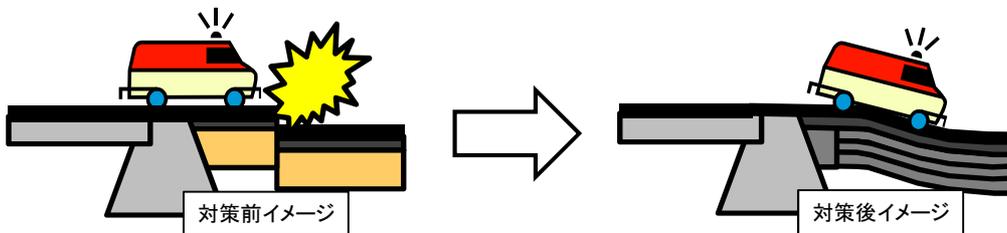
◎緊急輸送道路の液状化対策を行います



【概要説明】

緊急輸送道路に指定されている市道上の橋梁に段差抑制策を施すことにより、南海トラフ地震等による液状化現象発生時においても、緊急物資の搬送と災害拠点病院である市民病院へのアクセスを確保します。

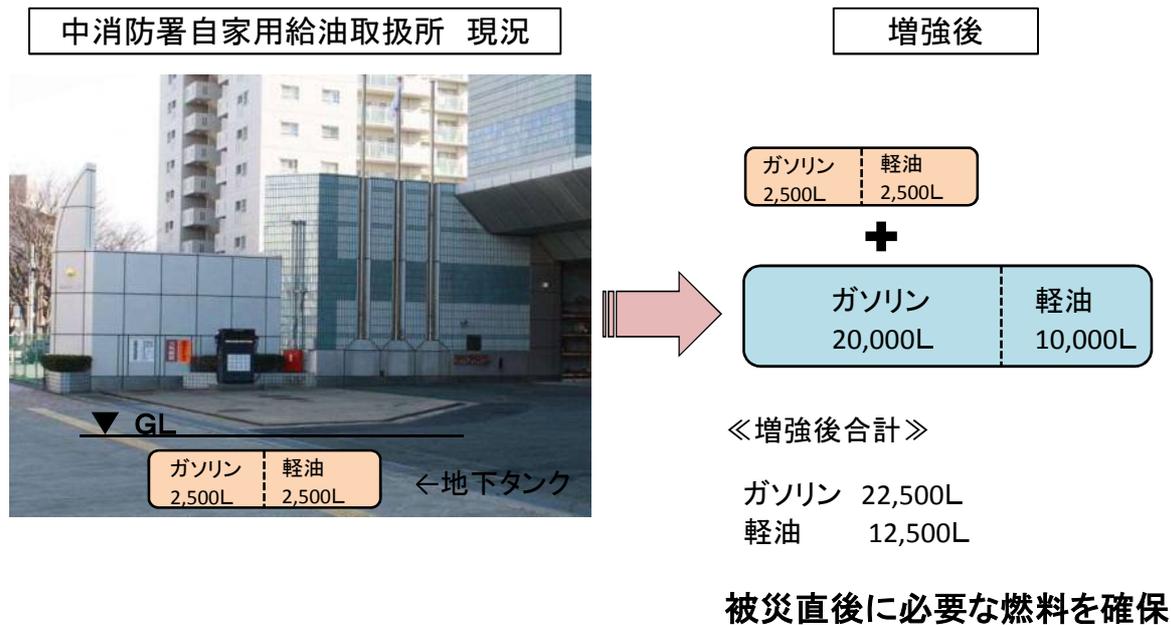
27年度は五間大橋と下野2号橋において段差抑制工事を実施します。



担当課	道路建設課	電話 (0532)51-2520
メールアドレス	dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp	

震災時活動拠点の強化事業	事業費	73,620	千円
--------------	-----	--------	----

◎震災時の車両用燃料及び中消防署の電力を確保します



【概要説明】

東日本大震災時には、被災直後に多数のガソリンスタンドが営業を停止し、消防車・救急車をはじめとする各災害対応車両への燃料供給に大きな支障をきたしました。

この教訓から、被災直後における必要な燃料を確保するため、中消防署(東松山町)の自家用給油取扱所の地下燃料タンクを増強し、災害対応力の強化を図ります。

また、大規模災害時における停電への対策として、中消防署の非常用発電設備の燃料タンクを増強することにより、災害時の活動拠点である中消防署の必要な電力を確保します。

担当課	(消)総務課	電話 (0532)51-3110
メールアドレス	shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp	

消防団活動用資機材充実強化事業	事業費	32,072	千円
-----------------	-----	--------	----

◎消防団の活動用資機材を充実強化し、災害に強いまちづくりを目指します



【概要説明】

平成25年12月13日に公布・施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、「消防団の装備の基準」が改正されました。(平成26年2月7日公布・施行)

地域防災の「要」である消防団の重要性がますます高まるなか、活動用資機材を充実し、地域の防災体制の強化を図ります。

《整備する活動用資機材》

- 双方向の情報伝達が可能な情報伝達機器(簡易デジタル無線機)
- 消防団員の安全確保のための装備(安全靴、防塵メガネ、防塵マスク等)
- 救助活動用資機材(エンジンカッター、投光器等)

担当課	(消)総務課	電話 (0532)51-3111
メールアドレス	shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp	

新エネルギー導入促進事業	事業費	126,000	千円
--------------	-----	---------	----

◎住宅用の新たな補助制度を開始します



ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)

家庭の電力消費量をモニター等で「見える化」します。電気の無駄使いなどを防ぎ、家庭内の省エネ化を進めるシステムです。



リチウムイオン蓄電池

太陽光発電システム等で発電した電力を蓄えておける電池です。災害時など非常時でも蓄電池にためておいた電気により照明などが使えます。



ペレットストーブ

木質ペレット(間伐材など木を原材料とする小粒の固形燃料)を燃料とするストーブです。灯油など化石燃料を使わない地球にやさしいストーブです。

【概要説明】

住宅用の省エネ化を進めるためにホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)、リチウムイオン蓄電池、ペレットストーブに対する補助制度を新たにスタートします。

対象	補助上限	予定数
ホームエネルギーマネジメントシステム	2万円	100件
住宅用リチウムイオン蓄電池	5万円	50基
ペレットストーブ	5万円	10台

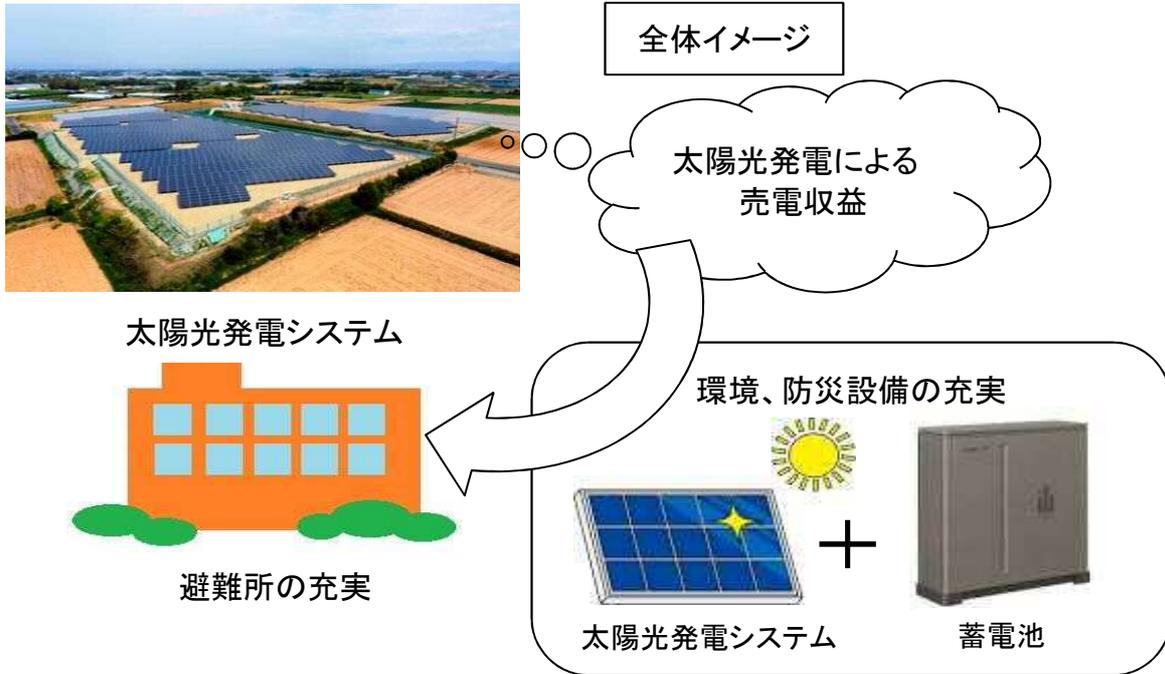
担当課 温暖化対策推進室

電話 (0532)51-2419

メールアドレス ondanka@city.toyohashi.lg.jp

再生可能エネルギー活用推進事業	事業費 70,200 千円
-----------------	------------------

◎再生可能エネルギーの活用をさらに推進します



【概要説明】

本市では、公共施設への太陽光発電システムの設置を進めています。(平成26年度末で104か所)

地球環境やエネルギー環境の変化に寄与する「地域における再生可能エネルギーの活用」の一環として、市の遊休地に太陽光発電システムを設置します。あわせて、太陽光発電による売電収益を活用した事業の展開も図っていきます。

【スケジュール】

平成27年度～28年度 太陽光発電システムの設置(神野新田町地内)

平成28年度～48年度 太陽光発電の売電

平成29年度以降 避難所への太陽光発電システム・蓄電池の設置など

担当課	温暖化対策推進室	電話 (0532)51-2419
メールアドレス	ondanka@city.toyohashi.lg.jp	

自然環境保全推進事業	事業費 6,521 千円
------------	-----------------

◎すばらしい自然環境を将来に引き継ぎます



干潟保全実践プロジェクト（汐川干潟）



自然観察会（汐川干潟）



アカウミガメ保護対策（表浜海岸）

【概要説明】

将来にわたり多様な生態系を確保するため、汐川干潟の保全実践活動、アカウミガメの保護対策、特定外来生物の駆除を実施し、自然環境を保全します。

【活動内容】

- ・自然環境啓発冊子データの作成
平成24年度から26年度にかけて実施した自然環境保全基礎調査の報告書を基に、市民に分かりやすく紹介する自然環境啓発冊子データを作成
- ・干潟保全実践プロジェクトの実施
汐川干潟において、地元小中学生、住民等が共同して健全な干潟の保全と意識の醸成をはかる。
- ・アカウミガメ保護対策の実施
- ・自然保護啓発活動の実施
自然観察会（表浜海岸や汐川干潟の生き物）、出前講座など
- ・特定外来生物駆除対策の実施

担 当 課	環境保全 課	電話 (0532)51-2385
メールアドレス	kankyohozen@city.toyohashi.lg.jp	

指定ごみ袋制度の導入	事業費 3,421 千円
------------	-----------------

◎指定ごみ袋制度を導入します



ダンボールで出されるなどマナーの守られていない市内のごみステーション



指定袋を導入している近隣市のごみステーション

【概要説明】

○豊橋市のごみ出し状況

豊橋市のごみ持ち出しは透明又は半透明の袋を使用することとなっていますが、ダンボールや紙袋、中身の見えない袋が使われるなど、依然としてマナーを守らないごみの持ち出しが見られ、ステーションの乱雑化にもつながっています。

○指定ごみ袋制度とは

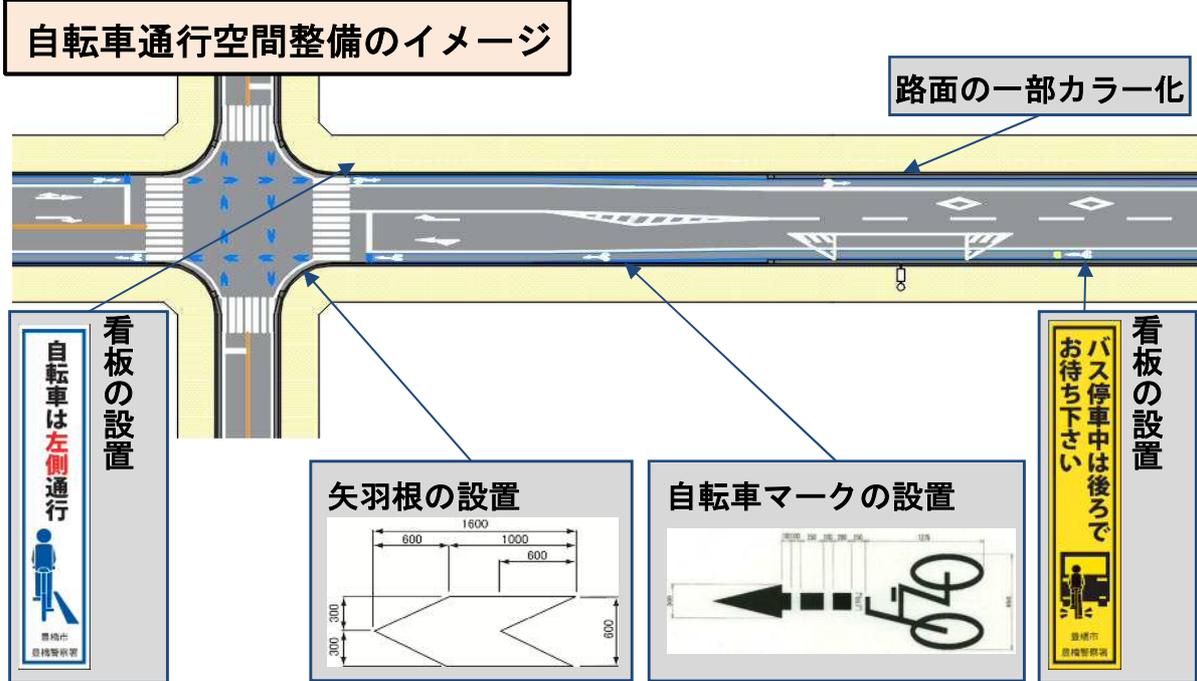
市がごみ出し袋の規格(大きさ、色、形など)を指定し、その袋を使って家庭ごみを持ち出してもらう制度です。これにより、ごみの分別精度が高まり、ごみ出しマナーの徹底が図られます。

市では、今後住民説明会を行い、平成28年2月1日(試行)から指定ごみ袋制度を導入します。

担 当 課	環境政策 課	電話 (0532)51-2454
メールアドレス	kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

自転車通行空間整備事業	事業費	80,800	千円
-------------	-----	--------	----

◎自転車利用を促進するため、通行空間を整備します



【概要説明】

自転車と歩行者、自動車と共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進します。

27年度は、前年度に策定した整備計画に基づき、松葉町・南瓦町1号線（札木通り）ほかを整備します。

整備（吉前線の社会実験）の様子



担当課	道路建設課	電話 (0532)51-2520
メールアドレス	dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp	

バイオマス資源利活用施設建設事業	事業費	153,684	千円
------------------	-----	---------	----

◎バイオマス資源のエネルギー利用を目的とした施設の建設に着手します



施設完成イメージ

※イメージ図であり、実際の施設とは異なる場合があります。

【概要説明】

下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみのバイオマス資源のエネルギー利用を図るため、中島処理場内に国内最大規模のバイオガス化施設を建設します。

《契約期間》

平成26年12月11日～平成49年9月30日
 ○設計・建設：平成29年9月30日まで
 ○維持管理・運営：平成29年10月1日から

《平成27年度の実施内容》

○施設の設計及び建設

★
注
目
ポ
イ
ン
ト

- ① PFI方式により、**民間の資金、経営能力、技術能力を活用！**
- ② 資源化センターの一部施設を中島処理場へ集約することで、**処理コストを削減！**
- ③ バイオマスエネルギーという**新エネルギーを創出！**
- ④ ガス発電と炭化燃料化の組合せにより、**バイオマス資源を100%エネルギー化！**
- ⑤ バイオマス資源の多様な利活用により、**温室効果ガスの排出量を削減！**

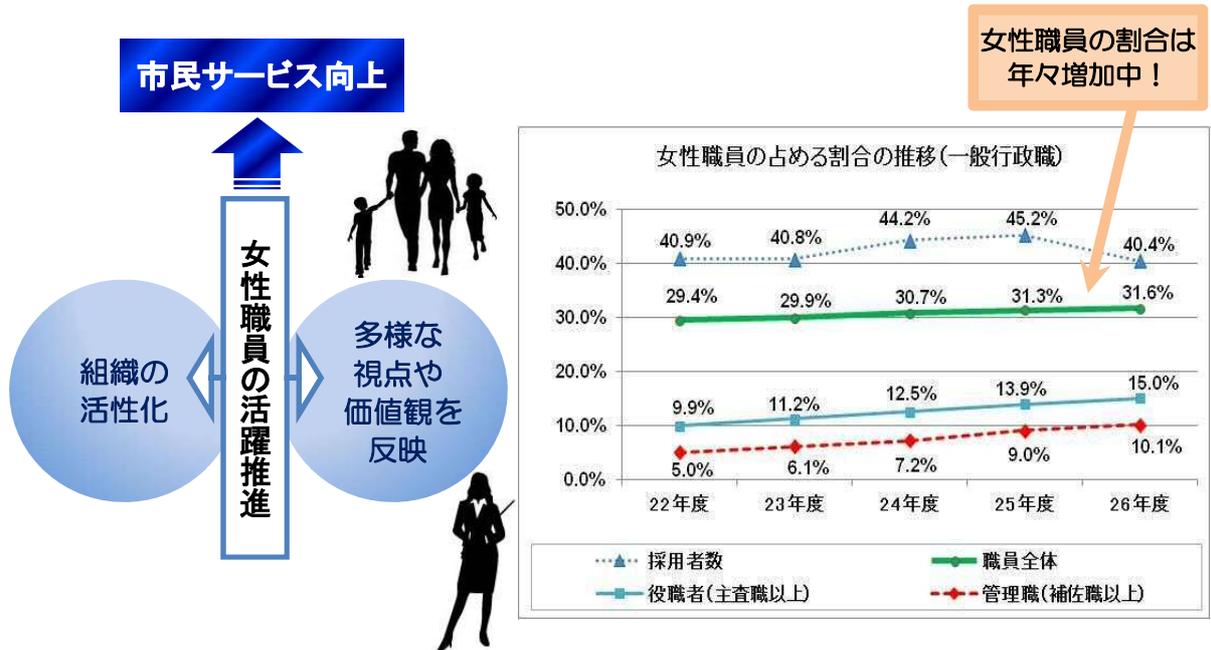
担 当 課 (上下水)総務 課

電話 (0532)51-2705

メールアドレス water-somu@city.toyohashi.lg.jp

女性職員の活躍推進	事業費	618	千円
-----------	-----	-----	----

◎女性職員の活躍推進に取り組みます



【概要説明】

満足度の高い市民サービスを提供するためには、性別にかかわらず職員一人ひとりが持てる能力を最大限発揮し、多様な視点や価値観を政策に活かすことが重要です。

本市では、女性職員の更なる活躍推進に向けた取組指針を策定し、全ての職員がより一層意欲的に働くことができる職場づくりを進めます。

《女性職員のキャリア形成支援》

- ◎ 女性職員のキャリア形成の支援とマネジメント能力の向上を図るための研修を実施します。
- ◎ 育児休業を取得している職員に対し、円滑な職場復帰に向けた自己啓発としての通信教育に係る費用を全額補助します。

担当課	人事課	電話 (0532)51-2047
メールアドレス	jinji@city.toyohashi.lg.jp	

総合計画策定事業	事業費	5,903	千円
----------	-----	-------	----

◎第5次豊橋市総合計画後期基本計画を策定します

◆後期基本計画の策定では、様々な取組みを通し、幅広い市民意見の反映に努めています。



左: 高校生・大学生によるワークショップ『豊橋まちづくりカフェ』
 中: 小中学生のポスター作品『みらいのキミが住みたいまち・豊橋』
 受賞作品表彰式
 右: 有識者や公募委員等による市民会議

【概要説明】

第5次豊橋市総合計画後期基本計画(計画期間:平成28年度から32年度)を策定します。

この計画は、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、各種政策の目標や取組みの基本方針を明らかにするものです。平成26年度の将来人口推計や市民アンケート、ビッグデータ分析に続き、平成27年度では市民会議からの提言、さらには計画(案)を作成した段階でのパブリックコメントの実施により、市民意見の反映に努めます。

また、総合計画の内容を理解しやすい「マンガ」による小中学生向け冊子を作成します。

< 総合計画の構成と期間 >



担 当 課	政策企画 課	電話 (0532)51-3151
メールアドレス	seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp	

ええじゃないか豊橋推進計画改定事業	事業費 1,119 千円
-------------------	-----------------

◎「ええじゃないか豊橋推進計画」を改定します



＜プロモーションの核となる4つのコンテンツ＞



手筒花火



のんぼいパーク



路面電車



とよはし食文化

【概要説明】

「豊橋市シティプロモーション戦略ビジョン」の具体的なアクションプランとして策定した

「ええじゃないか豊橋推進計画」(計画期間:平成22年度から27年度)を改定します。

＜次期計画期間＞平成28年度から32年度

・現計画を策定した当時と比べると、豊橋市でも人口減少が始まったことや、地方分権がさらに進んだことにより、自治体の置かれた状況がさらに厳しくなっており、今まで以上にシティプロモーション活動の重要性が増しています。

・「ええじゃないか豊橋推進計画」の改定においては、現計画の成果や課題などを検証するとともに、広域連携の推進や、市制施行110周年、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、今後の社会情勢の変化に適切に対応した計画を定めます。

担 当 課 シティプロモーション推進室 電話 (0532)51-2179

メールアドレス citypromotion@city.toyohashi.lg.jp

東三河広域連合負担金	事業費	91,669	千円
------------	-----	--------	----

◎東三河広域連合が事業を開始します



【概要説明】

平成27年度から東三河広域連合が事業を開始します。東三河広域連合は、新たな広域連携事業、権限移譲事務、共同処理事務の3つを柱とする総合的な広域連合で、その実現により市町村連携の一層の強化を図り、これまで以上に主体的に東三河の地域づくりを進めます。

東三河広域連合の3つの柱

新たな広域連携事業

権限移譲事務

共同処理事務

- ・介護保険事業の保険者統合に向けた準備に関する事務
- ・滞納整理に関する事務
- ・社会福祉法人の認可等に関する事務
- ・障害支援区分認定審査会の設置及び運営に関する事務
- ・消費生活相談等に関する事務
- ・航空写真撮影及び地形図データ作成に関する事務

担当課

政策企画課

電話 (0532)51-2180

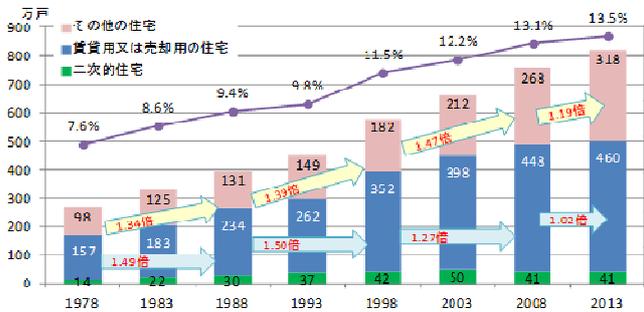
メールアドレス

seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

空家対策推進事業	事業費	12,683	千円
----------	-----	--------	----

◎空家等の有効活用を推進します

平成25年度の住宅・土地統計調査によると、全国の空家率は13.5%であり、過去最大となっています。このうち、適切に管理されていない空家は防災、衛生、景観等の面で周辺住民の方に悪影響を与えるため、良好な生活環境の保全のための対応が求められています。また、このような空家を生み出さないために空家を有効に活用していくことが重要です。このため、平成26年11月に制定された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、豊橋市も積極的に空家等対策を推進します。



空家数の推移

空家数は年々、増加しており、特に「その他の住宅」が増加している。

- ・二次的住宅：別荘及びその他（たまに寝泊りする人がいる住宅）
 - ・賃貸用又は売却用の住宅：新築、中古を問わず、賃貸又は売却のため空家になっている住宅
 - ・その他の住宅：上記の他に人が住んでいない住宅で、例えば転勤、入院のために居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など
- 住宅・土地統計調査（総務省）より

【概要説明】

空家の実態と所有者の意向を調査し、そのデータを整備します。また、空家バンクや空家改修費補助など空家の利活用を推進するとともに、空家の適正管理を促し、生活環境の保全に努めます。

《推進する施策》

- ・空家の実態・所有者の意向調査による実態把握
- ・空家物件情報の登録及び提供をする制度(空家バンク制度)の創設
- ・空家利活用改修費補助制度の創設
- ・適切に管理されていない空家所有者への指導
- ・空家所有者への適正管理・利活用の啓発

担当課	建築指導課 住宅課	電話	(0532)51-2588 (0532)51-2602
メールアドレス	kenchikushido@city.toyohashi.lg.jp、zyutaku@city.toyohashi.lg.jp		



ええじゃないか豊橋